

STUDENT SUPPORT

学生支援

学生が安心かつ充実した大学生活を送るため
きめ細やかな支援を行う

今までの取組

✓ 学生への経済的支援

本学は学生への様々な経済的支援を実施しています。2020年4月より国が実施している高等教育の修学支援新制度の対象校になり、日本人等学部生は支援条件を満たす場合、給付奨学金の受給に併せて、入学料及び授業料の減免が行われます。大学院生には本学独自の入学料・授業料免除制度により減免が行われています。また、本学独自の支援制度として優秀学生支援制度を設けており、入学者及び在学生において成績優秀者と認められた学生に対し、経済的支援を実施しています。

✓ 授業料免除等の充実

経済的理由や、やむを得ない事情があると認められる学生及び成績優秀学生に対し、入学料や授業料の全額または一部を免除しています。この他にも、ツイニングプログラム、リーディングプログラム、TUT-DCフェローシップ、JSPS特別研究員等に採用された学生を支援するための授業料免除制度も設けており、様々な学生へ幅広く支援を行っています。

✓ 本学独自の奨学金

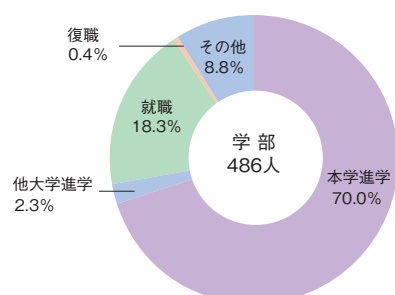
特別優秀学生奨学金、優秀学生支援制度奨学金等の本学独自の給付奨学金制度を設け、学生への経済支援の充実を図っています。

実績

✓ 進路状況 (2022年5月1日現在)

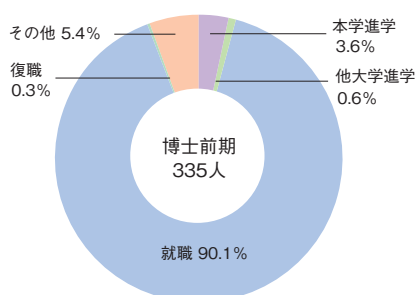
■ 学部進学・就職者数(人)

卒業者	486
進学(本学)	341
進学(他大学)	11
就職者	89
復職者	2
研究生等	0



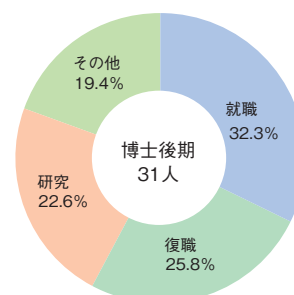
■ 大学院博士前期課程進学・就職者数(人)

修了者	335
進学(本学)	12
進学(他大学)	2
就職者	302
復職者	1
研究生等	0



■ 大学院博士後期課程進学・就職者数(人)

修了者	31
進学(本学)	0
進学(他大学)	0
就職者	10
復職者	8
研究生等	7



✓ 実務訓練、協同研究を通じて企業からは高評価

就職では各課程・専攻の就職担当教員や学生課が就職活動をサポートするほか、例年学内で約360社が参加する「学内企業説明会等（11月、3月）」を開催しています。実務訓練や共同研究を通じて学生の能力が高く評価されていることもあり、求人数は学生数に対して約24倍、結果として、100%近い就職率を維持しています。

就職率

就職者412名
就職希望者422名
(2022年3月卒)

97.6%

出典：日経HR
「日経キャリアマガジン
価値ある大学2022-2023
就職力ランキング」

採用を増や
したい大学

地域別総合

全国
2位

東海・北陸
地区
4位

✓ 課外活動団体に対する支援

45の課外活動団体の課外活動を支援するために、学生組織である学生会からの基礎経費支援の他に、学内経費と同窓会経費による課外活動団体活性化経費支援があり、同支援は課外活動団体の企画提案を基に審査して経費支援を行っています。

■課外活動活性化支援実績

	団体数	支援額
2021年度	13団体	2,253千円
2020年度	15団体	2,637千円
2019年度	23団体	3,000千円

■課外活動団体の主な活動(2022年度)

◎ロボコン同好会(とよはし☆ロボコンズ)
NHK学生ロボコン2022優勝
ABUアジア・太平洋ロボコン2022出場

◎東海地区国立大学体育大会出場
(テニス、バドミントン他)

◎技科大祭実行委員会
10月に技科大祭を開催

◎吹奏楽団 式典での演奏の他
10月に定期演奏会を開催

ロボコン同好会(とよはし☆ロボコンズ)



将来展望

近年の採用の流れに対応した、手厚くきめ細やかな対応

就職支援に関しては、近年の採用の流れや今後の状況変化に敏感に対応していきたいと考えています。就職関連行事としては、これまで3月に実施してきた学内企業説明会を、2021年度から11月の業界研究セミナーと3月の学内企業説明会という形に組み直し、また、対面方式に限らず、オンラインでの開催にも積極的に取り組んでいます。さらに、どの企業も重きを置きつつあるインターンシップに関しても、ガイダンスや企業説明会の機会を確保し、学生が余裕を持って情報収集を行うことができるよう支援していきます。個別の対応としては、2018年度からキャリアコンサルタントの資格をもつ担当者を常駐させ、より学生が相談しやすい体制としています。各課程・専攻の就職担当教員を中心とした手厚い支援に加え、有資格者によるアドバイスで、学生の就活を後押ししていきます。就職に限らず、学生の各種相談に対応するため、学内の相談体制を充実させつつあります。医師、保健師、看護師、専門の資格を持つカウンセラーに加え、修学相談に対応するコーディネーター、留学生相談を担当するコーディネーター等、現状の学生相談に合った体制を整備し、きめ細やかな支援を目指します。